

県工事成績・施工実績評価換算表及び完成工事高評価換算表の見方について

I 県工事成績・施工実績評価換算表（令和3・4年度鹿児島県建設工事入札参加資格における総合点数の内容の2の(1)）

1 県工事成績・施工実績評価換算表の構成

(1) 対象となる期間

対象となる建設工事の種類	対象となる期間	
	対象期間	対象年度（※）
土木一式工事，舗装工事，造園工事	5年間	平成27年度～令和元年度
建築一式工事，電気工事，管工事	7年間	平成25年度～令和元年度

※ 県の事業年度（4月～3月）であり，各建設業者の決算期とは異なる。

(2) 工事成績

各年度の工事成績の平均点の合計を，工事の実績のあった年数で割った値

※ (1)の対象となる期間内に「工事の実績がない年度」がある場合，当該年度は工事成績の対象の年数に含めない。

(3) 工事高

各年度の対象となる建設工事の種類ごとの完成工事高の合計を，対象期間で割った値

(4) 留意事項

各年度の県の工事代金の支払額を各年度の工事高として算定する。

- ・ 繰越工事の場合は，当該年度支払分のみを工事高として計上する。（債務負担工事を含む。）
- ・ 共同企業体（JV）の場合は，JV協定書の出資割合に応じた工事高をそれぞれ計上する。

2 点数の算定方法（例：土木一式工事の場合） 内が工事金額， 内が工事成績

工事名	年度 区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		上段：工期，中段：工事高（単位：千円），下段：工事成績（単位：点）				
A工事 （平成27年度内完成工事）		25,200 75.3				
B工事 （平成28年度への繰越工事）		前金払 12,000 ※	48,000 80.2	清算払		
C工事 （平成28年度内完成工事）			76,000 76.2			
D工事 （平成30年度内完成工事）					60,000 77.6	
E工事 （令和2年度への繰越工事）						前金払 10,000 81(※) 20,000 80.0

○ 換算表の「工事成績」の算定方法（平均工事成績）
 発注機関（県本庁，地域振興局等）ごとに各年度ごとの工事成績の平均値を算出。複数の機関から受注している場合は合算して平均値を算出。
 同一年度・同一事務所内の工事において，繰越工事や工事成績の対象とならない工事（500万円未満の工事，寄洲除去の工事，伐採・除草のみの工事 他）のみの場合は78点（平成30年度以降は81点）を当該工事の工事成績とする。

- ・ 27年度 A工事でB工事が同一事務所の発注の場合は，B工事は27年度では工事成績の対象とはせず， $75.3 / 1 = 75.3 \approx 75$ （端数切り捨て）。両工事が別々の事務所発注の場合，B工事は工事成績78点で算出し，27年度の工事成績は $(75.3 + 78) / 2 = 76.65 \approx 76$ （端数切り捨て）となる。
- ・ 28年度 B工事でC工事が同一事務所の発注でも，別の事業所発注の場合でも， $(80.2 + 76.2) / 2 = 78.2 \approx 78$ （端数切り捨て）。
- ・ 29年度 工事の実績がないため，工事成績の対象期間に含めない。（最終的に平均を算出する分母にも含めない。）
- ・ 30年度 D工事のみのため， $77.6 / 1 = 77.6 \approx 77$ （端数切り捨て）
- ・ 元年度 E工事の前金払部分は工事成績の対象とならない工事として， $81 / 1 = 81 \approx 81$

当該業者の工事成績（27年度+28年度+30年度+元年度の合計： $75+78+77+81$ ）/ $4=77.75 \approx 78$ （端数四捨五入）

○ 換算表の「工事高」の算定方法（平均工事高）
 $25,200 + 12,000 + 48,000 + 76,000 + 60,000 + 10,000 = 231,200 \div 5 = 46,240$
（端数が生じた場合は四捨五入）

※ 工事の実績がない年度は0として計算する。

県工事成績・施工実績評価換算表から技術事項等評価点数を算定する。

工事高	工事成績				
	74	75	76	77	78
5,000万円以上 6,000万円未満	95	98	101	105	109
4,000万円以上 5,000万円未満	87	90	93	96	99
3,000万円以上 4,000万円未満	77	80	83	86	89

99点

II 完成工事高評価換算表（令和3・4年度鹿児島県建設工事入札参加資格における総合点数の内容の2の(3)のア）

1 完成工事高評価換算表の構成

- (1) 対象となる建設工事の種類
 土木一式工事，建築一式工事，舗装工事，電気工事，管工事，造園工事
- (2) 年間平均完成工事高
 経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書の「完成工事高（2年平均又は3年平均）」欄に掲げる工事高を用いる。
- (3) 留意事項
 土木一式工事については，とび・土工・コンクリート工事，石工事，しゅんせつ工事，解体工事を，建築一式工事については，大工工事，屋根工事を合算の上，年間平均完成工事高として計上する。

2 点数の算定方法（例：土木一式工事の場合）

経営規模等評価結果通知書
 総合評定値通知書

許可区分	建設工事の種類	総合評定値(P)	完成工事高	
			○年平均	評点(X1)
特	010 土木一式	○○○	420,000	○○○
	011 プレストレストコンクリート	○○○	155,500	○○○
般	020 建築一式	○○○	35,000	○○○
特	050 とび・土工・コンクリート	○○○	67,500	○○○
	011 法面処理	○○○	0	○○○
特	060 石	○○○	3,050	○○○
特	140 しゅんせつ	○○○	0	○○○
特	290 解体	○○○	0	○○○

○ 換算表の「年間平均完成工事高」の算定方法
 土木一式+とび・土工・コンクリート+石+しゅんせつ
 $= 420,000 + 67,500 + 3,050 + 0 + 0 = 490,550$

完成工事高評価換算表から技術事項等評価点数を算定する。

年間平均完成工事高	点数
5億円以上 6億円未満	73
4億円以上 5億円未満	69
3億円以上 4億円未満	66

69点